

令和4年度よこはま教師塾
「アイ・カレッジ」

申込期間

令和4年6月1日（水）～7月15日（金）

募集対象者

入塾選考の状況により、人数は変動します。

- (1)横浜市立小学校教諭を目指している者：50名程度
- (2)横浜市立中学校教諭を目指している者：30名程度

応募資格

横浜市の教員を第一に希望し、令和5年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験を受験予定の 大学（短大、専門学校、大学院を含む）3年生（2年制の場合は1年生）とし、かつ、「小学校教諭普通免許状」又は「中学校教諭普通免許状」を取得見込みの者

詳細は、下記の二次元バーコードより、「よこはま教師塾『アイ・カレッジ』」のウェブサイト内にある募集要項にてご確認ください。

開講日

ベーシック講座

9月11日（日）
10月2日（日）
10月23日（日）

スタンダード講座

11月6日（日）
11月27日（日）
12月18日（日）
1月14日（土）
2月4日（土）
2月25日（土）
3月18日（土）

- ・「ベーシック講座」は申込書類等による一次選考合格者を対象とした講座です。その取組状況をもとに、二次選考を実施します。
- ・「スタンダード講座」は、二次選考合格者のみを対象とした講座となります。
- ・「スタンダード講座」への参加状況、提出物の状況、効果測定の結果を通して卒塾の判定を行います。
- ・「ベーシック・スタンダード講座」以外にeラーニングによる講座もあります。
- ・実施日は予定です。変更になる場合もあります。
- ・講座は9：00～16：00を予定しています。
- ・会場は花咲研修室（下記住所）です。

受講料

受講料は必要ありません

自宅等でのインターネットへの接続料、講座に必要な書籍代、登塾時等に係る交通費など、受講に関わり必要となる費用は、各自でご負担いただきます。

問い合わせ

横浜市教育委員会事務局 教職員育成課
〒220-0022 横浜市西区花咲町6丁目145
横浜花咲ビル2階

Tel：045-411-0516 Mail：ky-i-college@city.yokohan

詳細はこちら



「アイ・カレッジ」で学ぶ

それは
横浜で教師を目指す

わたしのチャレンジ

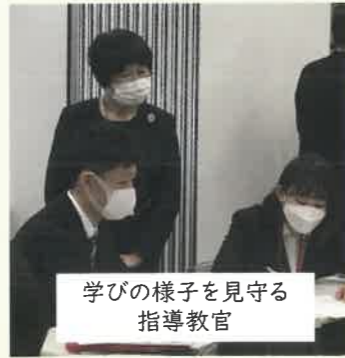
令和4年度 よこはま教師塾
「アイ・カレッジ」

横浜市教育委員会

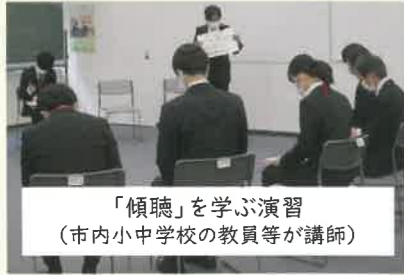
【人とつながる】

学びを支える講師

教育に関わる最新情報、横浜という地域ならではの教育課題に精通した指導教官や指導主事が講義や演習を実施します。また、学校現場での豊かな経験をもった管理職や教員が講座を担当することもあります。指導教官は常に塾生に寄り添い、一人ひとりの課題に応じてきめ細やかに支援します。



学びの様子を見守る指導教官



「傾聴」を学ぶ演習
(市内小中学校の教員等が講師)



特別支援教育に関する講座
(市内小学校の管理職が講師)



模擬授業に向けたグループでの学習指導案の検討

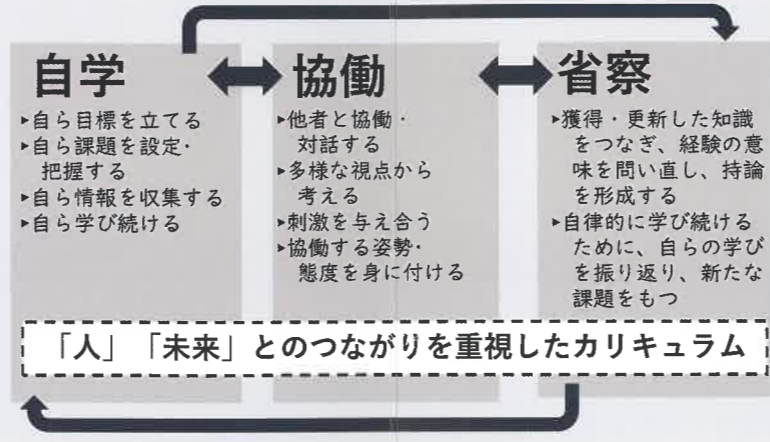
切磋琢磨する仲間

同じ志や悩みをもつ仲間同士で、対話を通して課題を解決したり、互いの模擬授業を評価し合ったりして、協働的に学びます。一人で参考書と向き合うだけでは得られない学びの手応えをたくさん得ることができます。

今、教師を目指しているみなさんは、急激に変化し続ける予測困難な社会の中で教壇に立つこととなります。そのため、これまでにみなさんが学んできたことが、学校現場においてはいつまでも同じように通用するとは限りません。学校や地域、社会の状況に対応し、目の前の子どもと向き合うための必要な資質・能力は常に更新され続けていきます。そのような未来を見据え、横浜市は教育への**使命感**や**情熱**をもち、児童生徒のために**学び続ける姿勢・態度**を兼ね備えた教員を求めています。

このような姿勢・態度を身に付けるために、よこはま教師塾「アイ・カレッジ」では、「人」や「未来」とのつながりを重視したカリキュラムに基づき、学びを段階的に積み重ねていきます。また、「**自学・協働・省察**」の三つの学び方を大切にすることで、塾生自らが主体的な学習者として、仲間や指導教官とともに、学びの手応えや実感を得ながら、自分を磨き、高めていくことができます。

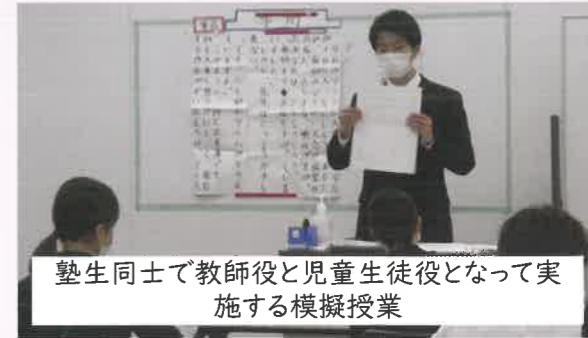
学び続ける教員を目指して



【未来とつながる】

実践力の重視

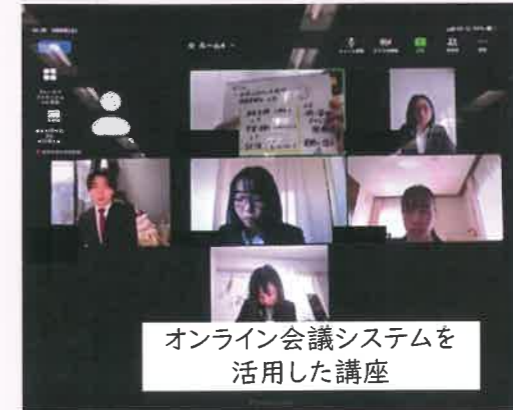
「アイ・カレッジ」のカリキュラムは、横浜市の人材育成指標に示された「教職の素養」「授業力」「児童生徒指導」「マネジメント」に基づいて構成しています。塾での学びを積み重ねることで、横浜市の教師として必要な実践力の素地を身に付けることができます。模擬授業やポスターセッションなど、塾生自らが実践的・体験的に学び、学んだことをレポート等にまとめ、振り返ります。自己評価やフィードバックを次の学びにつなげていけるようにしています。



塾生同士で教師役と児童生徒役となって実施する模擬授業



塾生が作成した「目指す教師像」についてのポスター



オンライン会議システムを活用した講座

ICTの活用

学校現場で実際に活用されるICTの活用を通して、学習効果を高め、いかなる状況でも学びを止めないよう支援しています。GIGAスクール構想が推進される今、学習者としてICTに触れることは、現場での仕事に直結します。

自分の中であいまいだった「目指す教師像」が、他者に伝えるという活動を通して、明確になりました。明確になったことで自分に足りないところや目標に近づくために何をしたらよいかを具体的に考えるようになりました。(塾生から)

「アイ・カレッジ」には、受けただけで終わる講義はありません。授業づくりや教育について学ぶのはもちろんのこと、様々な場面に対応するための、演習や討議の時間がたくさんありました。(卒塾生から)

自分の体験や考えには限界があるため、同じ目標をもつ他の塾生の話や意見を聞くことで視野が大きく広がったように感じています。また、相手に意見を述べるときに、よい面ばかりではなく、改善点を述べるのが今まで非常に少なかったため、「アイ・カレッジ」の活動を通して、自分の中の意識が変わったように感じます。(塾生から)

塾生の声 卒塾し学校現場で活躍する教師の声

今でも指導してくださった指導教官、ここで出会った仲間とのつながりが、大きな支えとなっています。横浜市の教職員として、「アイ・カレッジ」の学びを基盤として、努力し続けたいと思います。(卒塾生から)

本気で横浜の教師を目指す人々と、教育現場で起こる問題について、対話的に学び合い、切磋琢磨することができました。(塾生から)